

## 防虫ネット<sup>かや</sup>蚊帳育苗で健全な苗づくり

タバココナジラミは、トマトなどの果菜類にウイルス病を伝搬する害虫です。特に施設栽培では、育苗期にタバココナジラミが寄生して、トマト黄化葉巻病等に感染すると、施設内に病気が蔓延して大きな被害を受けます。

そこで、化学農薬を多用しないで病害虫を防除するために、防虫ネットを加工し、その中で育苗する技術を開発しました。0.4mm 目合いの防虫ネットを蚊帳（かや）状に加工し、その中でトマトの苗を5週間育苗した結果、タバココナジラミの侵入はごくわずかで、トマト黄化葉巻病の発生を完全に防止することができました。



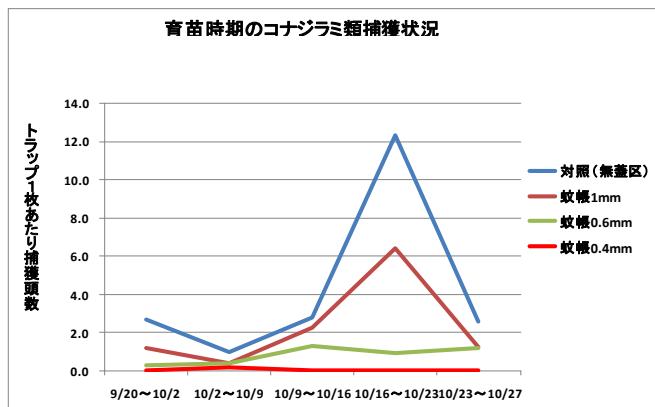
防虫ネットによる蚊帳育苗状況



タバココナジラミの成虫(約 1mm)



トマト黄化葉巻病被害株  
葉が黄色くなり、樹が伸びにくくなる。



育苗中のタバココナジラミ侵入状況  
0.4mm 目合(赤線)ではほとんど侵入できない

ネット目合	コナジラミ捕殺数 粘着板 1枚当たり	トマト黄化葉巻病株数(50株/区)	
		育苗期間中	定植後 50日間
0.4mm	0.2 頭	0 株	0 株
0.6mm	4.0	0	1
1.0mm	11.5	1	2
蚊帳無し	21.2	3	1

蚊帳育苗でトマト黄化葉巻病の発生を抑えることができる